

平成27年9月3日

NHK広報局

9月 会長定例記者会見要旨

Q. テレビ放送のインターネット同時配信の検証実験について

A. (靱井会長) テレビ放送のインターネット同時配信の試験的な提供を10月19日から11月15日までの4週間、実施する。今年3月に公表した「平成27年度インターネットサービス実施計画」の中の「試験的提供B」で、インターネットサービスの改善・向上に向けた検証として行う。NHK総合テレビの内容をインターネットで朝7時から夜11時までの1日16時間以内で配信し、視聴ニーズのほか、端末の動作や画質の状況、インターネットでの権利処理に関する課題などを検証する。モニターは、NHKネットクラブなどを通じて1万人以内を募集する予定。
(詳細は報道資料参照)

Q. 第42回「日本賞」について

A. (会長) 1965年から始まった日本賞は、世界でも例のない教育コンテンツのみを対象にした国際コンクールで、今年は世界55の国と地域から339の作品が寄せられ、45の作品が一次審査を通過した。最終結果は10月22日に発表し、女優の木村佳乃さんの司会で授賞式を行う。また「日本賞」が開始から50年を迎えることを記念し、NHK会長賞を教育コンテンツの発展に貢献してきたアメリカ、イギリス、パキスタンの計3名の方に贈ることとした。アメリカ、マサチューセッツ工科大学・メディアラボ所長の伊藤穰一さんを招いての関連イベントも予定している。
(詳細は報道資料参照)

Q. 「27年度第2期の営業業績(確定値)」について

A. (会長) 契約総数の増加は19万3千件。前年度実績と比べると、ここまで4か月間の増加数は少なくなっているが、第2期は前年を8千件上回った。年度の3分の1が経過したところで、年間計画51万件に対し進捗率は37.8%。衛星契約の増加は30万2千件で、年間計画60万件に対する進捗率は50.4%となり堅調に推移している。
(詳細は報道資料参照)

Q. 「NHK地域づくりアーカイブス」について

A. (堂元副会長) これまでNHKが全国で取材し、番組にしてきた地域づくりの取り組みを再編集して、インターネットのホームページで紹介するもの。数十万人の観光客誘致に成功した商店街の取り組み、地域の孤独死を防ぐため8000人のボランティアが立ち上がった街など、多くの事例をそろえ10月にスタートする。地域社会がさまざまな課題を抱える中、地域のお役に立てればと思っています。
(詳細は報道資料参照)

Q. 総合スポーツイベント「Nスポ! 2015」について

A. (副会長) 10月10日と11日の2日間、東京・渋谷のNHK放送センターで開催する。東京オリンピック・パラリンピックへ向けてスポーツへの関心が高まる中、幅広い世代の方々に楽しんでいただこうと初めて企画した。BS1の「チャリダー★」などの公開収録やラジオの公開生放送、北京五輪メダリストによるスポーツ教室など様々なプログラムがある。

(詳細は<http://pid.nhk.or.jp/event/>を参照)

Q. NHKが放送した戦後70年の特集番組について

A. (会長) 全般的にかなりのボリュームの放送が行われた。戦後70年ということで、戦争の悲惨さなどについて徹底して放送していたと思う。戦争体験者や被爆経験者たちが相当、年をめされてきている中で、戦争体験の記憶を一生懸命、記録として残そうというのが姿勢として強く感じられたと思う。

Q. ネットフリックスの日本でのサービス開始について

A. (会長) 我々もオンデマンドをやっているので、NHKというよりは、日本全体のテレビの見方にどのような影響があるのか非常に興味深い。お互いにどういことができるのか、今後、見極めたい。

(以上)